

平成30年5月30日

「株式会社伊藤ファーム」への協調融資について

～畜産クラスター事業活用による規模拡大を秋田銀行と日本政策金融公庫が協調支援～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷明弘）は、日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」という。）秋田支店農林水産事業とともに、「株式会社伊藤ファーム」（代表取締役 伊藤基）に対し、協調融資を行い、規模拡大と生産方式の改善を支援いたしましたのでお知らせいたします。

当行と日本公庫は、業務連携・協力に関する覚書を締結しており、今後も相互に連携し地域経済の活性化に努めるとともに、農業生産者さまへの総合的な支援を推進してまいります。

1 株式会社伊藤ファームについて

株式会社伊藤ファームは、大仙市土川で大規模な養豚経営を行っており、高い生産技術を有する地域の中心的存在として、養豚業界の振興に貢献してきました。

2 畜産クラスター事業について

- (1) 畜産クラスターとは、畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が結集、連携して、地域ぐるみで畜産の収益性を向上させるための取組みのことで、国は補助金交付などにより畜産クラスターの構築を推進しています。
- (2) 同社は、畜産クラスター関連の補助金を活用し、繁殖豚舎1棟およびパイプハウス式肥育豚舎14棟の新設、既存豚舎の改修等により現状のおよそ3倍の生産規模を目指しており、規模拡大により地域の雇用創出に貢献するとともに、新たな生産方式を取り入れた技術体系を地域に普及させるための拠点としての役割を担います。
また、堆肥処理施設（コンポスト、脱臭槽）を新設し、周囲の環境にも配慮するとともに、地域の農業者への堆肥供給と飼料用米の利用を通じて、耕畜連携にも取り組んでいきます。
- (3) 当行は農業近代化資金により、日本公庫は当行を窓口とした農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）により、194百万円の支援を行いました。また、同社が行う今後の生産規模の拡大についても、当行と日本公庫が連携して支援を行ってまいります。

3 事業概要

- (1) 施設整備の内容

繁殖豚舎	1棟
パイプハウス豚舎	14棟
肥育豚舎改修	2棟
堆肥調整保管施設	1棟
副資材保管施設	1棟
- (2) 総事業費 約428百万円

(以 上)